

広報 あいづ ばんげ

No.676
2020

表紙:中村ザル菊園にて(中村ザル菊の会)

目次 - CONTENTS -

地域のちから「中村ザル菊の会」	2
令和2年度 上半期の財政状況	4
住宅地販売中	5
医療費の削減で家計も安心	6
セルフケアーで、健康に過ごしましょう(冬期間の水道使用について)	7
地域防災～自主防災組織をつくろう～	8
住宅新(増)築 家屋の滅失などをお知らせください・確定申告を便利に!	9
健康を意識した食生活を実践しましょう	10
予防歯科のすすめ	12
図書室だより・町史編さん調査余話(38)	13
まちの話題・スマイルトーク	14
お知らせインフォメーション	16
子どもと健康の広場	20
農・交・交プロジェクト(兼好米稲刈り)体験を開催しました!	22

地域のちから

「中村ザル菊の会」

—自分たちの愛する
地域をより良いもの
にしたい。—

熱い思いを持ち、地
域の仲間とともに
日々パワフルに地域の
課題に向き合う中村
地区の皆さん。

今回は、多くの人
を魅了し、メディアに
も大きく取り上げら
れている「中村ザル菊
園」を管理運営する
中村ザル菊の会の地
域づくりについて紹
介します。



▲約25種類のザル菊が植栽されている「中村ザル菊園」。美しいグラデーションに通りを行く人は思わず足を止めます。



△坂下南幼稚園の子どもたちと苗植えの様子（昨年6月）
地域の団体「ほっこりサロン ポットママ」の皆さんも協力。



▲毎年、花が咲く前に案内の講習会を開催。



▲菊が見頃の10月下旬から11月中旬までは「中村ザル菊の会」の皆さんが常駐し、7か所のザル菊スポットを案内してくれます。消毒液も準備し、感染症対策も万全です。



△看板も会員の皆さんが設置。



△ザル菊の特徴を聞くことができます。



△年配の方などは車で送迎しながらご案内。

始まりは一本のザル菊から

中村区は桃、梨、ぶどう、りんごなどの果樹園が広がる美しい景観を誇る地区です。

生江光男さん（中村ザル菊の会会長）は地域を美しくしたいと様々な花を植栽してきました。「10年ほど前、ご近所の渡部さんにザル菊を株分けしてもらったことがきっかけで、多彩な花を咲かせるザル菊で、少子・高齢化やコミュニケーションの希薄化がすすむ自分たちの地区を賑やかにしたい、と思うようになりました。」

当時、区の役員だった生江さんは、「中村をザル菊でいっぱいになりたい！」と地区住民に相談しました。

地区への愛着は

「中村ザル菊園」に形を変えた

「地区の年配の方から若者まで、ザル菊での地域づくりについて快諾してくれました。次世代を担う若者たちも中村という地区に愛着を持っていて、地域を良くしたい、さらにつながりを持ちたいと思っていたことが分かって、推進力となりました。」（生江会長）

今では「中村ザル菊の会」を発足し、約15名で園の管理運営を行っています。また、昨年は地区住民の交流の場である「ほっこりサロン ポットママ（ザル菊の英名）」の会員や、坂下南幼稚園の園児が苗植えに協力するなど、地域の多くの方と交流を持ちながら美しい景観を造り出しています。

